令和４年度　北海道大樹高等学校の道徳教育全体計画

北海道教育推進計画

【基本目標】
１社会で活きる力の育成
２豊かな人間性の育成
３健やかな体の育成
４学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進
５学びをつなぐ学校づくりの実現
６学びを活かす地域社会の実現

学校教育目標

「健やかな身体と豊かな心を持ち、自ら学ぶ人間を育てる」
○自他を尊重する豊かな心を持ち、多様な人々が共に生きる共生社会を、支える人材となる生徒（共生）
○自学と探究する力を持ち、主体的に地域共創へ参画し、新たな価値を創造していく生徒（共創）

関係法規

○日本国憲法
○教育基本法
○学校教育法
○学習指導要領

保護者や地域の願い

１自己実現のための基礎学力を養い、知識技能の活用能力を磨く
２他者を理解し、協調して行動できる豊かな心を育む
３自立と共生の生き方を身につけ、人間関係を築く基盤をつくる

道徳教育の重点目標

規範意識や公正な判断力、自らを律しつつ粘り強くたくましく生きる力を育み、自他の生命を尊重することなどの基本的な倫理観等を身につけるとともに、地域の自然や伝統、文化などを生かしながら、人間尊重の精神や生命への畏敬、思いやりの心、美しいものに感動する心など豊かな心の育成を図る。

生徒の実態

素朴で素直な面を持ち、思いやりをもって行動できる生徒が多い。学習面では、努力の継続をもって地道に学力をつける習慣に乏しく、また競争意識も希薄なため、能力が十分に発揮されていない。ただ、反面で未知の潜在力を秘めた生徒も少なくなく、学習、部活動に対する取り組みは真摯で、目を見張る実績を残すこともある。教師集団の働きかけで開花する可能性は大きい。

各教科・科目

国語	論理的に意見を述べたり、目的や場面などに応じて表現したりすることによって、主体性や想像力を育てる。また、目的に応じて的確に他者の意を読み取り、お互いの立場や考えを尊重することによって、豊かな心の育成を図る。
地歴	歴史上の人物の生き方を手がかりに、自己の課題と結びつけ、人間の在り方に深く根ざした人間としての生き方について、熟考し、自己の理想に向かって努力しようとする実践的意欲と態度を養う。また、文化や伝統を大切にし、郷土や国を愛する豊かな心、自然を守り豊かな環境を後世に伝えていく使命感を育む。
公民	公民たる資質の涵養に努めることで、自らが社会を形成する有為な存在であることの自覚と責任を喚起し、共同体の在り方を深く考え、他者との共生・協働の生き方を育てる。
数学	身近な事象を数学的に考察し、処理するとともに、論理的思考能力、想像力及び直感力などの創造性の基礎を育成することにより、より良い人間関係を構築し、自己の在り方を自ら追い求めていく姿勢を養う。
理科	身近な自然現象と科学文明の成り立ちを理解することを通して、生命を尊重する態度を養う。また、人類と他の生物種との共存を目指し、地球環境の保全とエネルギー資源の有効活用の重要性を学ぶ。
外国語	外国語を通して、異なる言語や文化に対する理解を深め、寛容の精神、他を尊重する態度を育む。
保健体育	健康・安全・運動についての理解と実践を通して、自らの生涯にわたる健康を保持・改善していく資質や能力、実践力を育む。
芸術	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
家庭	人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義について理解させるとともに、男女が協力して家庭生活や地域との関係を創造する能力と「よりよく生きる」ための実践的な態度を育てる。
情報	昨今の情報化社会の中で、「情報」に対する考え方を深め、情報収集能力、情報加工・活用能力などを高めるとともに、ネット社会におけるモラルやマナーを身につけることで、情報化社会の生き方について、考える力を培う。
商業	ビジネスに対する見方や考え方を深めるとともに、ビジネスの諸活動に柔軟に対応できるなど、経済社会での生き方について、考える力を培う。

総合的な探究の時間

生涯を通しての在り方生き方について、自身と向き合い他者からの助言を受けながら考えることで、自らの人格を絶えず磨いていく姿勢を養い、個々の能力・才能を伸ばし自己実現を目指す。また、職業体験・台湾見学旅行・地域探究活動などを通して探究のプロセスと情報発信の手法を学ぶことで、社会に参画する構成員として新しい価値を創造するための力を培う。

特別活動

○ホームルーム活動
ホームルームにおける様々な活動を通して、自己理解を深め、個人及び集団の一員として諸課題に積極的に取り組み、人間としての在り方生き方について探求する姿勢を涵養する。
○生徒会活動
自発的、自治的な生徒会活動を通して、自主的かつ実践的な姿勢を身につけて人間形成を図るとともに、地域活動やボランティア活動を通して、豊かな人間性や思いやりの心、公共のために尽くす態度を養う。
○学校行事
様々な行事に積極的・意欲的に参加することを通して、他者との関わり合いを学んで円滑な人間関係を築き、連帯感・責任感・愛校心を育てる。

家庭との連携

豊かな心の育成と基本的な生活習慣の確立を図るために、家庭に向けて積極的に情報を発信し、本校が求める人間像の理解を進める。また、学年ＰＴＡの充実、学校行事への保護者の参加を促すことで、多くの大人が生徒の人間形成に関わる体制を構築する。

地域との連携

本校が大樹町のさまざまな支援を受けて、教育活動を充実させていること、近隣の事業所の協力で職場体験を実施させていただいていることに、常に感謝の気持ちを持たせる。また、ボランティア活動や、地域行事に積極参加することで、異年齢層との交流の機会を増やし、共同体に生きる自己を見つめて、人間性の向上に資する環境を整備する。

ﾎｰﾑﾙｰﾑ経営を充実させるための方策

自己を知るためのエクササイズ、集団の中で円滑な人間関係を築くための構成的エンカウンターを経験させながら、社会性・協調性を育む。また、学校行事にクラス一致団結して取り組むことで、自らの能力と適性を認識し、集団に貢献する生き方を学ばせる。